



鳥見の記 散策の発見

第9回 冬 シーズン到来

2018.12



表紙の写真は、宮城県北部に位置する伊豆沼にシベリアから渡ってきばかりの「マガン」の群れ。稲刈りの終わった晩秋の田んぼで落穂を食べています。

師走と呼ばれる 12 月。日頃気ままなブラリーマンの身でも早朝の肌寒さを感じ、日暮れの早さを覚えると何となく気ぜわしく思えてしまう日々です。春先の朝方にコジュケイが「ちょっと来い！」と鳴く声が、秋の朝方にはモズの甲高い「高鳴き」に代わり、冬の到来と共にシジュウカラの鳴き声「ツピーツピー」に代わります。

冬鳥のシーズン到来は、今年度の初見が経験できる時となり、かつ落葉した木々の間を飛び回る鳥たちの生態をじっくり観察できる鳥見に最適なシーズンです。冷え込みが強い日は、小鳥たちの動き出しが遅くなると勝手に思い込み、鳥見の出だしが遅くなりながらも、普段のルートをゆっくりと回ります。そんな日のさくらの杜公園で、逆光の林間に注視しながら見つけ出す冬鳥たちは、まるで日向ぼっこしているように見えて、ブラリーマン・バーダーにこの上もない『癒し』を与えてくれます。



冬の朝、小貝川に架かる稲豊橋から

今回は、散策の発見「冬 シーズン到来」のサブタイトルに合わせて写真を選びました。いつもの所で「**今年度の冬鳥の初見**」を楽しみましょう！

鳥見のポイント

「鳴き声を聴き、見かけた場所と時間を記憶する」のが重要だと以前紹介しましたが、餌が少なくえさなる冬のシーズンは、鳥の習性として小鳥たちは初見した同じ場所と時間に出現するので何度も見ることができます。そのため、初見するまで、鳥の活動時間と場所移動を意識し、日によって朝・昼・暮れと鳥見の時間を変えたり、普段と逆まわりのコースを歩いてみたり、またその組み合わせを変えてみるのがポイントです。

みずき野とその周辺で見られる主な冬鳥

陸の冬鳥では、アオジ・ジョウビタキ(♂)・ビンズイ・カシラダカ・ツグミ・シロハラ・アカハラ・ヤマ

ガラ・オオジュリン・シメ・アトリ・マヒワ・ウソ・ベニマシコ(見られない年もあります)。水辺の冬鳥では第1・2調整池で、タシギ・オナガガモ・オカヨシガモ(見られない年もあります)などです。以下の記述や写真は、観察する人により早かったり、場所により遅かったりしますので、あくまでも目安と考えてください。



ジョウビタキ(♂)12月初旬第2調整池の水路の堤で水を飲んでいました。

ブラリマン・バーダーの鳥見のコース

基本はおよそ1時間半～2時間位の散策コースです。【 】内は時間と体力に余裕があれば追加のポイントとしてお勧めです。

- ・ 戸頭アプローチ・ロードのロータリーから café hiva の前を稲戸井駅方向へ向かう。
- ・ 最初の十字路を左に曲がり、道なりに進むと、café hiva の横のプレハブの建物のちょっとした広い空き地に出る。【十字路を右に曲がり関鉄の踏切まで行き折り返す。】
- ・ そこを通り抜けて、みずき野3丁目の谷地を歩き、さくらの杜公園の入り口に出る。
- ・ そこから第1調整池を行き来し、さくらの杜公園に入り、右回りに一回りして、さくら坂方面の出口から出る。【さくら坂出口で道を横切り8丁目の脇の野原の小道を行けるところまで行って戻る。】
- ・ さくらの杜公園の裏の水路の道を資材置き場の空き地で折り返し、ここから第2調整池まで行き、一回りする。【第2調整池の堤の端からみずき野周辺の田畑方面に足を延ばし、周辺を一回りする。】
- ・ 7丁目の文化財公園の横を通り抜け、みずき野集会所前の築山前に戻る。

本記事の最終ページに上記の散策コースと鳥見ポイントを地図にいたしましたので参考にしてください。



ジョウビタキは4月中旬まで見られる。
 (3丁目の谷地・さくらの杜公園のタイヤの遊具付近・公園内の林縁)



アオジは、11月以降にこの散策ルートで藪があるいたる所で見られる。



ビンズイは、12月頃から松の
 落ち葉の所でよく見かける。
 (みずき野郵便局交差点の
 歩道と3丁目の谷地の土手)



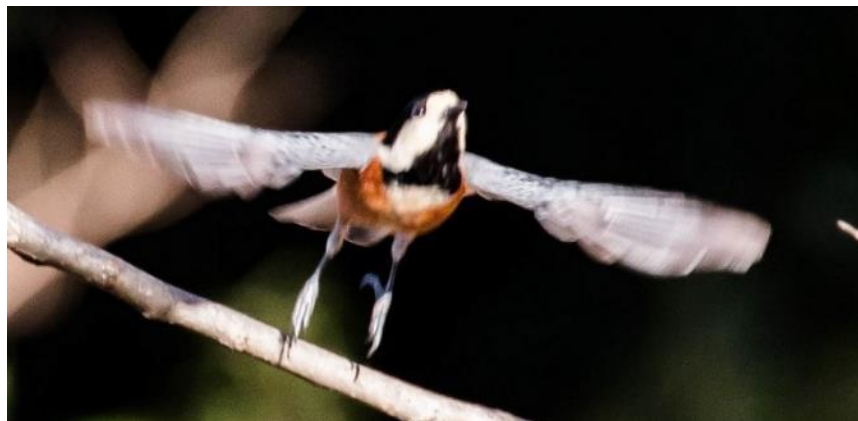
アカハラやシロハラは、1月
 ～3月下旬頃まで見られる。
 さくらの杜公園の橋を渡った
 右側の林縁付近で枯葉を
 「かっぱぐ音」に耳を澄ませよ
 う。



ツグミは12月頃からホッピングしたり、胸を張った得意ポーズを見せたりする。
(さくらの杜公園の芝・第2調整池の原っぱ)



カシラダカも12月頃見られる。(さくらの杜の裏の林・さくら坂から8丁目裏の小道の林)



ヤマガラは、みずき野周辺でもまれに見られる。12月中旬に守谷の北園森林公園・守谷城址公園の松林付近では毎年見ることができる。そこではアトリも初見できる。

(北園森林公園)



(3丁目宅の門扉)



(北園森林公園)



(守谷城址公園)



オオジュリンは1月頃に見られる。(3丁目の谷地・第2調整池のアシ原)



シメは1月末までには初見できるでしょう。(café hiva 横の空地・さくらの杜公園の原っぱ)



タシギは1月頃～2月末に見られる。(第2調整池の池と池の端(7丁目)の湿地の草原)



マヒワ



アトリ



ウソ



ベニマシコ



樹間から雪光に輝くみずき野の住宅



ツララの首飾り



冬、雪が降った翌日は鳥見に絶好の日になります。餌や水を求めて人目につく場所にも出現してくれるからです。



雪面 冷てい〜!! スズメ



ああ〜うめえ〜!! シメ



何もないなあ〜!! ホオジロ



ビンズイ



ツグミ



ジョウビタキ(♀)



アオジ



ヒヨドリ



シジュウカラ

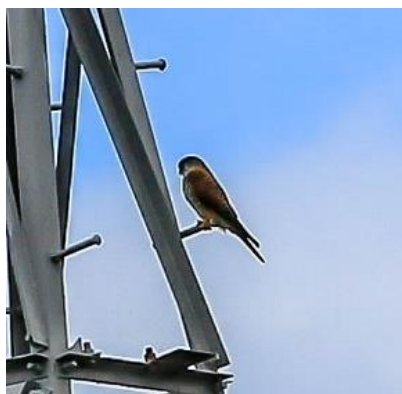
気温が一段と低くなる2月になると、防寒着に身を包んでも、双眼鏡やカメラの操作に手間どって、うまく鳥見のタイミングを掴めませんが、おおよそ、その年の初見が経験できます。そして、観察場所にもよりますが、1日に見られる鳥の数はスズメやカラス、カルガモを含めると最低 15 種位から多いときは 25 種近く見られる月でもあります。鳥見を楽しみながら、指折り数えてみてください。



凍てつく朝方の利根川の浅瀬で陽を浴びる水鳥たち
(大利根大橋の上流の中州)



そろそろ北に帰るコハクチョウのテイク・オフ(坂東市と常総市との間に位置する菅生沼)



鉄塔のチョウゲンボウ



オナガガモ(第1調整池)



カイツブリ(第2調整池)



2月の午後のカワセミ (四季の里公園)

梅が咲き、菜の花が土手一面を黄色く彩り、桜が芽吹くころになると、春は直ぐそこまでやってきます。寒かった日々も日に日に暖かくなり、淡く霞みのかかった景色は、心を落ち着かせ、何とも穏やかな気分になります。



春霞の早朝のさくら坂



café hiva 裏の広場の紅梅



滝下橋付近の鬼怒川の土手



逆光のモズ



ネコヤナギの芽を啄む
シジュウカラ



横目で餌を探す
セグロセキレイ



守谷市の北園森林公園のとさみずきの花



ビンズイ



新芽とヒヨドリ



白梅とメジロ



ヒメオドリコソウと戯れるスズメ

鳥見のシーズンの冬の到来に合わせて、この季節に見られる鳥たちを過去に撮った写真で紹介しました。皆さまの「散策の発見」のお役に立てれば幸いです。

次回は、春めく4月頃にお会いしましょう。

3丁目のバーダー・サトー 佐藤 健三

※次ページに鳥見の散策コースと鳥見ポイントの地図を載せています。

ブラリーマン・バーダーの鳥見のコース

